

江戸川河口だより

国土交通省関東地方整備局
江戸川河川事務所
江戸川河口出張所発行
電話03-3679-1460
2008年02月25日【号外1号】

根本排水機場は増水時に活躍しています
市川市内の国分川など川沿いの浸水被害を改善
この施設紹介を市川市『真間街回遊展』3/15・16で行います



根本排水機場は、江戸川の主要な支流である真間川と江戸川との合流点に位置しています。

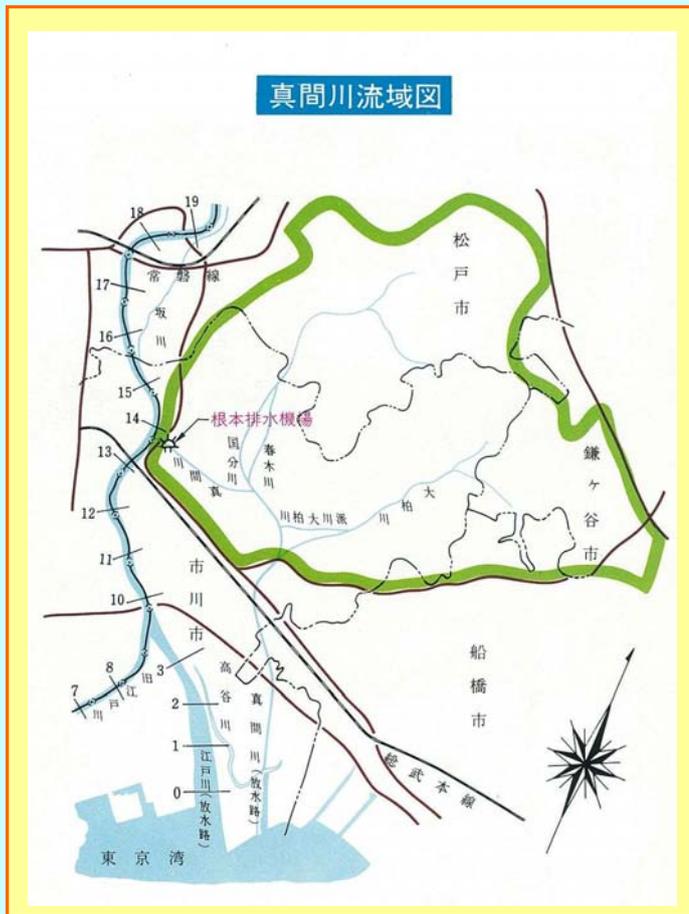
真間川流域は、国分川、大柏川から成り、この大部分は、市川市の市外地で低地のため、古くより浸水被害をこうむってきました。

この機場は、これらの被害を軽減するため、昭和53年3月建設されました。この施設の紹介を3月15日（土）～16日（日）の『真間街回遊展』で行います。是非、お出かけ下さい。

根本排水機場付近写真



根本排水機場の概要を紹介します



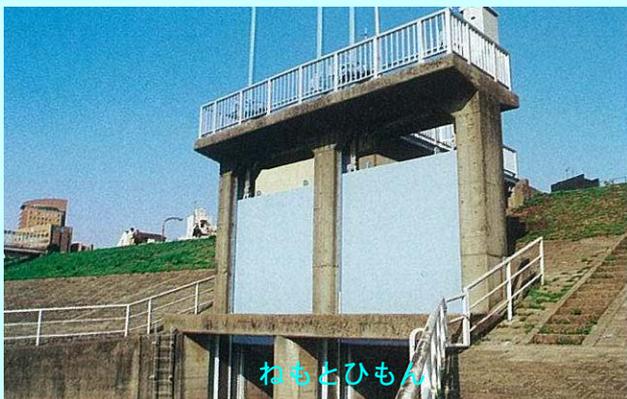
真間川は、江戸川の主要な支川で、市川市の中心部および松戸市を流れる一級河川です。その流域は、国分川、大柏川から成り、大部分の流域は市川市根本地先で江戸川に合流し、残流域は直接東京湾に注いでいます。

国分川、大柏川は、それぞれ松戸市五香、鎌ヶ谷市道野辺付近に水源を発し、市川市須和田地先、市川市富島付近で真間川に合流しています。流域面積は、全体で61km²、このうち国分川29km²、大柏川28km²、その他4km²となっています。また、流路延長は、真間川8.6km、国分川9.7km、大柏川9.5kmとなっています。

この流域の大部分は、市川市の市街地で低地のため、古くから浸水被害をこうむってきました。

特に、昭和33年9月の台風22号による浸水被害は甚大でありました。このため昭和34年から千葉県で真間川の改修工事に着手し、建設省（現国土交通省）では、昭和41年度に自然排水樋管（巾3.5m高4.5m2連）を改築するとともに、昭和50年から根本排水機場（排水量15m³/S）を新設することになりました。

排水機場の新設工事は、昭和50年10月に着手し、昭和53年3月に工費約10億5千万円で完成しました。



根本樋門



除塵機